

Wada Times Vol.19

2年生 菅平スキー教室、無事終了



菅平スキー教室が一月十九日から二十二日まで行われました。この三日四日の体験を通じて、2年生にはスキーの技術はもちろんですが、和田中生に必要な自分で考えて行動していく「自立」する力と、他人への思いやりの心をもって「貢献」する力がついてきたと感じています。たとえば、夜の会議などで先生方が不在の時、自分たちで「静かにしよう!」と声を掛け合い進めることができましたね。また、部屋の友達の体調が悪くなった時、その友達のために何が出来るかを考え、行動している人々を多く見かけました。

菅平スキー教室を終えて

校長 代田昭久

もうすぐ3年生になる君たちには、自分たちの仲間と通じ合い、お互いを尊敬し合える、最高の学年になってほしいと思います。さて、今回のスキー教室では、出発前に新型インフルエンザにかかってしまい参加できなかった人や、残念ながら途中から東京に帰らざるをえなかった人が何人かいます。さぞ悔しかったろうと思います。でも「耐えられない試験は、その人に与えられない」と言います。この試験を、大きな器の人間になるチャンスが与えられたと思って、ぜひ乗り越えてほしいと思います。



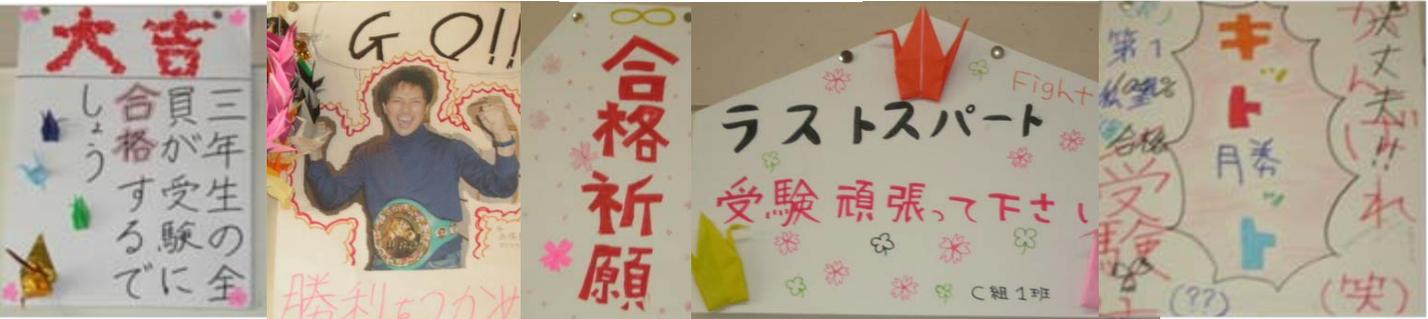
頑張れ、3年生! ラストスパートだ!!

今、3年生の教室に入ると、いたる所に高校合格祈願の「絵馬」が飾ってあります。3年生の合格を祈り、1、2年生が心を込めて作りました。多くの3年生がこれから正念場を迎えますが、君たちは決してひとりじゃありません。和田中の仲間が応援しています。さあ、ラストスパート!最後まであきらめない『和田中魂』をみせてください。



↑ 3年生の教室に飾ってある絵馬

↓ 1年生がつくった“合格絵馬”と“おみくじ” << キリトリ >> 切り取って机の前に貼っておこう。



みんなの意見が 全国に広がっています。

第2弾!



※和田中学校では、社会とのつながりや動きを学ぶために、火曜日の7校時には「新聞を読む」授業を行っています。その授業のひとつとして、気になった記事について、自分の意見を投稿しました。

▼産経新聞

【談話室】 2月1日

授業崩壊は 家庭教育にも責任

杉下有理(3年)

小学校の授業崩壊に対する新聞記事を読んだ。しかしその原因を、先生方に求める見方には、疑問があると思う。騒ぐ生徒を厳しく指導しても、その生徒を通し、保護者がクレームをつけてくるなど、私には本人とその保護者に問題があると思えるからだ。

新聞では「家庭などでのしつけ不足もひとつの原因」と書いているが、私には家庭のしつけ不足のほうが大きな要因だと思う。

授業崩壊の対策にしても、教員育成などより、家庭教育の見直しの方が急務ではないだろうか。

先生だけが悩み、苦勞する学校から授業崩壊はなくなる。先生と生徒、保護者が一体となって初めて授業崩壊に向き合えるのではないだろうか。

▼東京新聞

【若者の声】 1月18日

漫画の施設 待ち遠しい

北浦航磨(2年)

麻生首相が建設を予定していた「国立メディア芸術総合センター」が中止になったので、代わりに「東京国際マンガ図書館」ができるんだな、と思いました。しかし、建設するのが国ではなくて明治大学だと知って有名な大学が造るんだなあと驚きました。僕は明治大学の駿河台キャンパスに行ったことがあります。漫画やアニメが好きなので、保存場所が都内にできるのはとてもうれしいです。

これは三年前に亡くなった、有名なマンガ評論家の米沢嘉博さんの構想を実現したもので、米沢さんは世界最大の同人誌即売会のコミックマーケットの準備会代表を五十回以上務め、株式会社コミケットを設立した人でもあるのです。漫画やアニメは日本が世界に誇れる文化だと思うので、今後このような施設が増えていけばいいな、と思いました。

2、3月の「よのなか科NEXT」のお知らせ

「よのなか科NEXT」の授業は、これから直面する社会の重要なテーマについて生徒と一緒に考えていきます。

2月	9日(火)	3年	(1)~(5)	これからの人生で大切なこと ~第2回~	■ゲスト講師：平川理恵先生 (株)リクルート退社後、留学図書館を設立し代表取締役に。今年の4月から横浜市立学校の民間人校長として就任予定。
	16日(火)	3年	(1)~(5)	これからの人生で大切なこと ~第3回~	■ゲスト講師：有馬隼人先生 大学時代はアメフトの年間最優秀選手に選ばれる。TBSに入社し看板アナウンサーとなるも、夢を追い続けるために退社。
	26日(金)	2年	(2)(3)(4)	自分らしい美しさを発見する	■ゲスト講師：マダム由美子先生 6歳よりプロのバレリーナを目指す。バレエの所作を取り入れたサロン主宰。日本のオードリー・ヘップバーンの異名をとる。
	26日(金)	1年	(5)(6)	13歳のハローワークマップで旅に出よう	■ゲスト講師：石原正康先生 (株)幻冬舎、常務取締役。日本でもっとも多くのミリオンセラーを出版したカリスマ編集者。「働く」ことについて考える。
3月	9日(火)	3年	(1)~(5)	卒業論文試験	課題提示と論文作成
	9日(火)	全校	7	全校特別授業 ~環境学習のまとめと発表~	自分たちが創った「環境絵本」を1,2年生に向け発表する。 ■ゲスト講師：川島吾一先生 環境コンサルタント。2008年、地球温暖化対策審議会座長。
	16日(火)	3年	(6)(7)	校長、最後の授業	今年度授業(25回+3)の総まとめ “答えのない”社会を生きていく君たちへ。